

議員氏名：大沼 英樹

議案番号：請願第1号

案 件 名：神奈川県フリースクール等利用児童・生徒支援事業費補助金を活用した支援制度の創設
に関する請願について

討論内容：

私は、請願第1号に賛成の立場で討論をいたします。

私は、フリースクールという選択が、子どもたちの将来に自立心を育て、困難な環境でも生きる希望を見だし、快活な人生を歩むことにつながるのか心配がございます。昨年7月に視察した子どもたちの意思を重んじる自由な学校という方針で運営をしている、長野県のグリーン・ヒルズ小中学校と、山梨県の南アルプス子どもの村小学校を視察しておりますが、その際、両校の校長先生が、一般の義務教育の枠組みに収まることができるなら、現在の教育課程は優れており、大半の子どもにとって大きな成果を生むことができると認めていた点にあります。逆に言えば、自由な教育では、大半の子どもが十分な成果を得られずに卒業していくことになるとお話をされておりました。

この現実を見て、フリースクールでは、指導者に教員免許は必須ではなく、体系的な教育やICTを活用した学びが不足するおそれがあります。その結果、子どもたちの将来に格差も生みかねません。子どもの権利を重んじる一方で、自身に戻る結果や義務について、丁寧に教えていく必要があります。夢や理想だけではなく、現実責任を伴う仕組みについての教育が求められると考えております。

しかし、その上で問題を感じたのは、町と教育委員会の後手対応です。学校に行かせたくても行かせられない家庭の声は継続しており、支援学級「やまびこ」の行きにくい場所や、運用に指摘がありました。先んじた対応はされておらず、その間、子どもと保護者を苦しめております。

教育の取り組みは、先手であれば子どもを守り、そこができれば希望をつなぎます。しかし、後手対応は怠慢と受け止められかねず、信頼を損ないます。教育現場や大人との関わりに、信頼はなくてはならない必須の要素だと思っています。ですから、責任を持ち、現実的に子どもの未来を見通した対応を行うべきです。

以上の懸念を示しつつも、子どもたちのよりよい未来のために、町教育行政が課題を前向きに捉え、早急に対策をすることを求めて、本件に賛成をいたします。